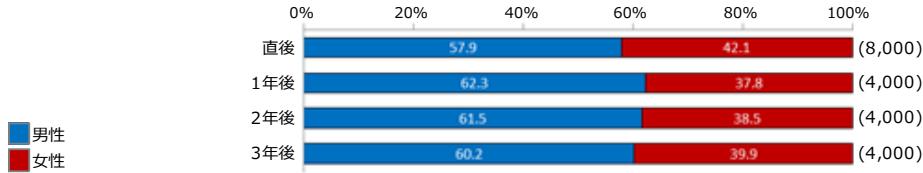


Ⅲ 性別基礎集計結果

■分析対象

- ・男女間での比較を行う



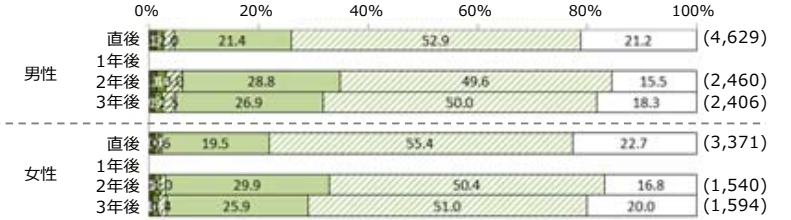
Ⅲ 性別基礎集計結果

3. 最近の津波避難実態

「津波襲来時における様子」

【平成22年3月1日 チリ地震津波】

南米チリ沖を震源とする地震の発生に伴い、太平洋沿岸の広い地域に津波警報・注意報が発表された



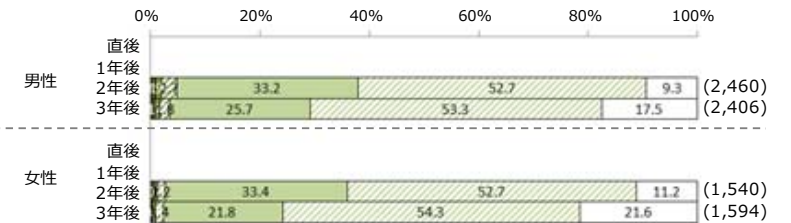
【平成23年3月11日 東北地方太平洋沖地震津波】

太平洋沿岸全域に大津波警報・津波警報が発表され、東北や関東では大きな被害となった（東日本大震災）



【平成25年2月7日 ソロモン諸島沖地震】

オーストラリアの北東に位置するソロモン諸島沖で発生した地震の発生に伴い、太平洋沿岸の広い範囲に津波注意報が発表された



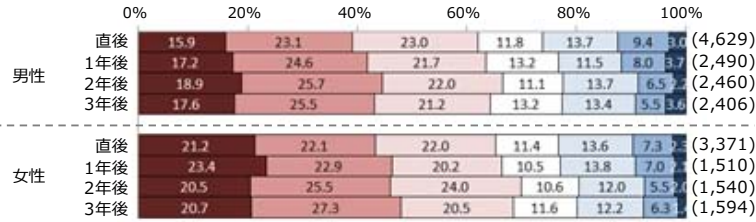
- 津波からの被害を逃れるために指定避難場所や高台などに避難した
- 津波のこを意識して外出した
- 津波の襲来に備えて何らかの対応をとっていた
- TVなどで津波に関する情報に注意していた
- 特に津波の襲来に備えた行動はとらず普段通りの生活をした
- 覚えていない・忘れてしまった

Ⅲ 性別基礎集計結果

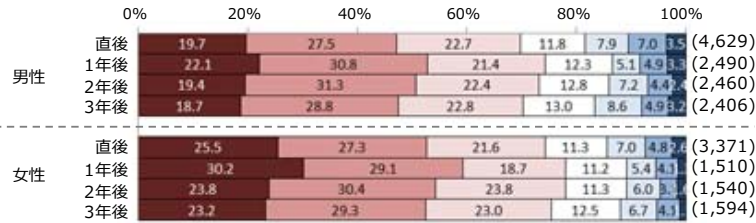
4. 震災前後の意識

A) 東日本大震災の【発生以前】

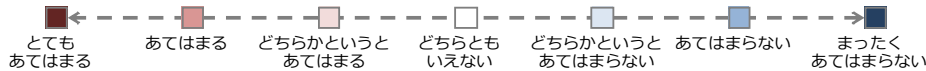
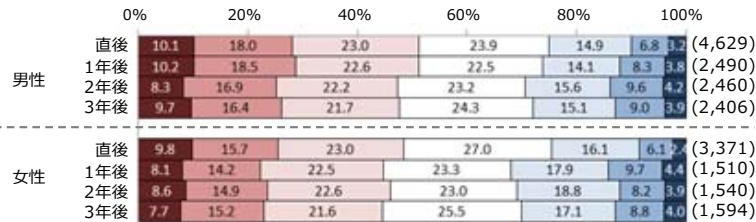
(1) 正直なところ、災害に対して危機意識を持っていたり、具体的に何か備えたりなどは、ほとんどしていなかった



(2) たとえ、国が想定している災害（今回の地震や、東海地震、首都直下型地震など）が発生したとしても、これほどまで大きな被害が生じるとは思っていなかった



(3) 相手は自然なので、この度の大地震のように、国の想定よりも大きな災害が発生し、甚大な被害も生じ得ると思っていた

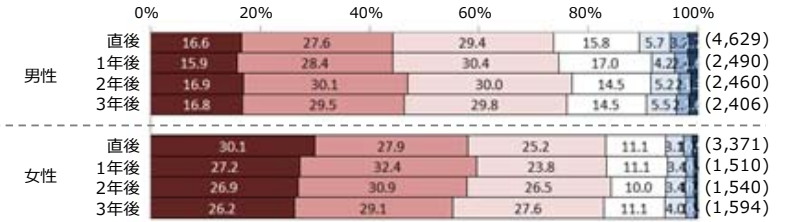


Ⅲ 性別基礎集計結果

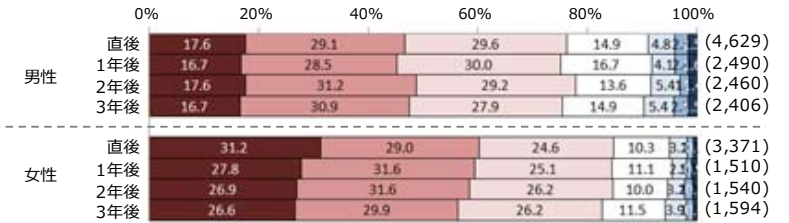
4. 震災前後の意識

B) 東日本大震災の【発生直後】

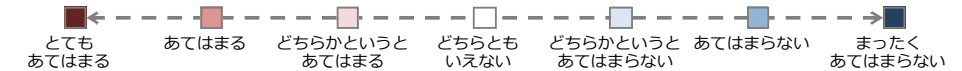
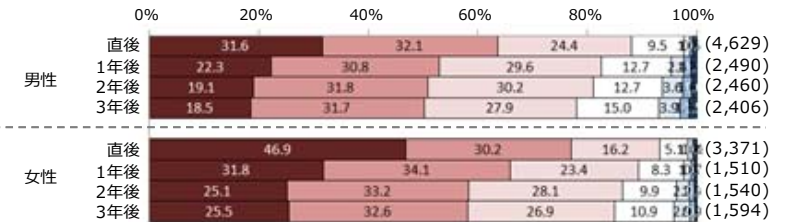
(4) この度の震災の様子を見て、あなたご自身がこれまでに行っていた“水や食料の備蓄”などの、物質的な備えは不十分ではないかと不安に思った



(5) この度の震災の様子を見て、あなたご自身がこれまでに行っていた“家族との安否確認方法や避難場所の確認”などの、平常時の取り決めは不十分ではないかと不安に思った



(6) この度の震災の様子を見て、今後、発生が予想される災害（南海トラフの巨大地震など）に対して、危機意識を持って、もっとしっかり備えておこうと思った

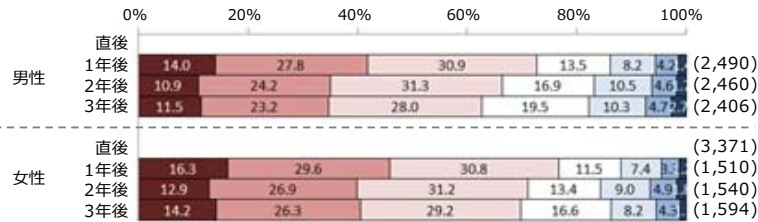


Ⅲ 性別基礎集計結果

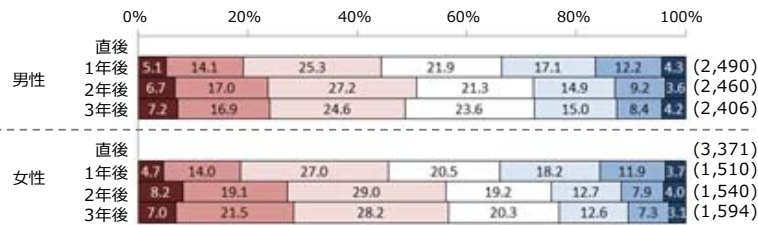
4. 震災前後の意識

C) 調査時点【現在】

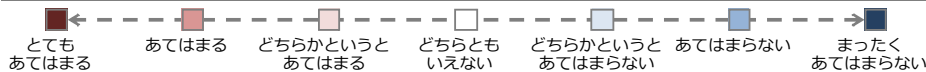
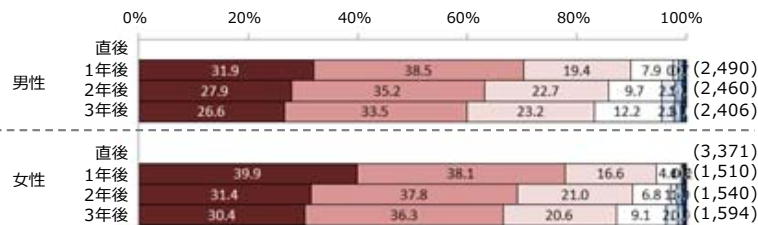
(7) この度の震災以後、災害の発生に備えた具体的な行動を十分にはおこなえていない



(8) 震災発生直後と比較すると、災害に対する危機意識はうすれてきてしまっている



(9) 今後も、この度の大震災のように、国の想定よりも大きな災害が発生し、甚大な被害が生じ得ることもあると思う

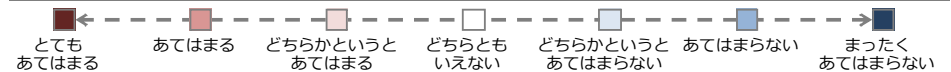
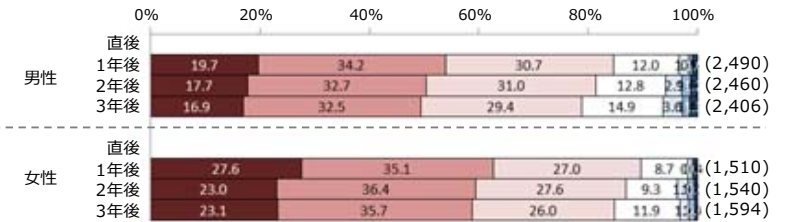


Ⅲ 性別基礎集計結果

4. 震災前後の意識

C) 調査時点【現在】

(10) 今後、発生が予想される災害（南海トラフの巨大地震など）に対して、危機意識を持って、もっとしっかり備えておこうと思う

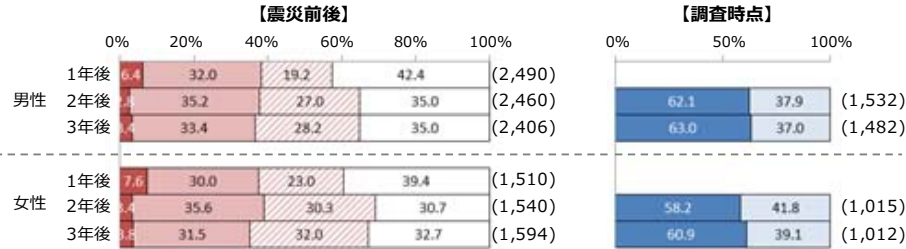


Ⅲ 性別基礎集計結果

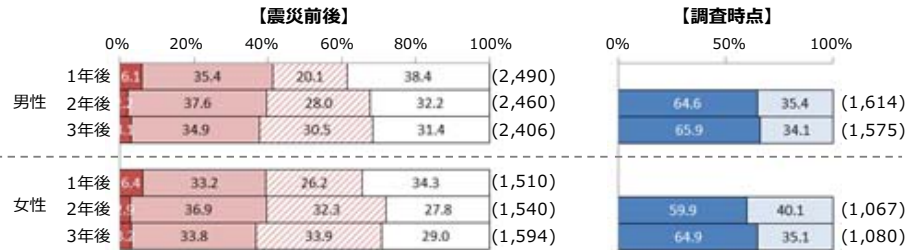
5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

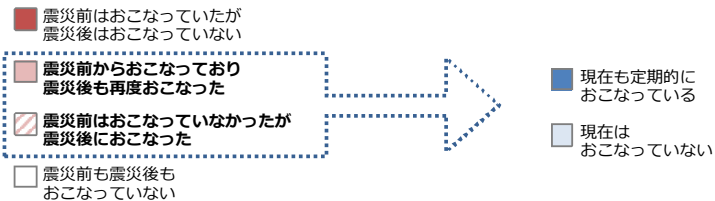
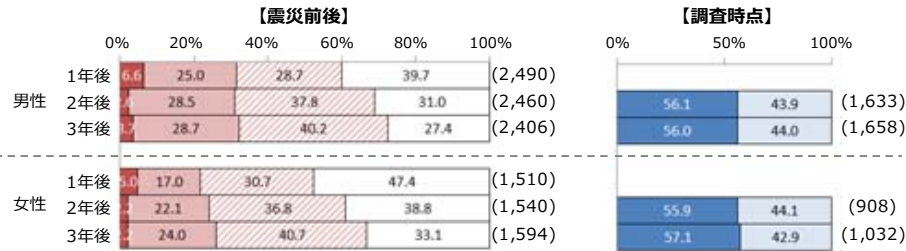
(1) 非常持ち出し品の用意（備え）



(2) 水や食料などの備蓄品の用意（備え）



(3) 自宅の標高の確認

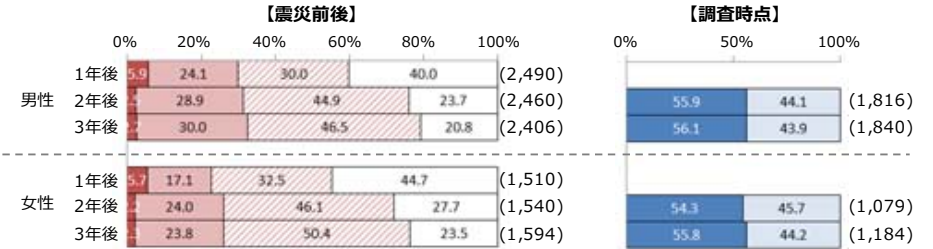


Ⅲ 性別基礎集計結果

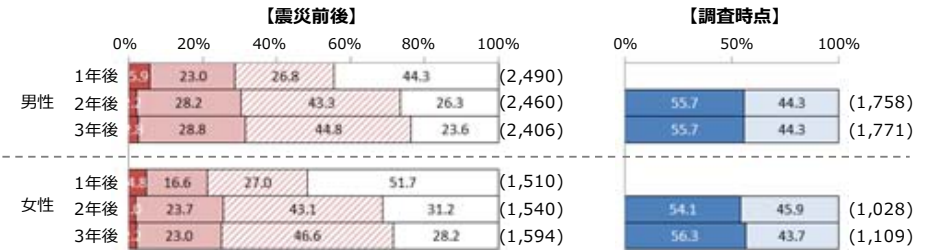
5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

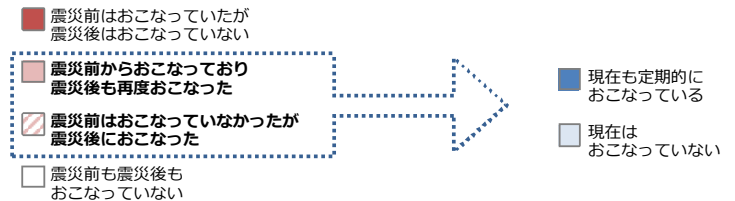
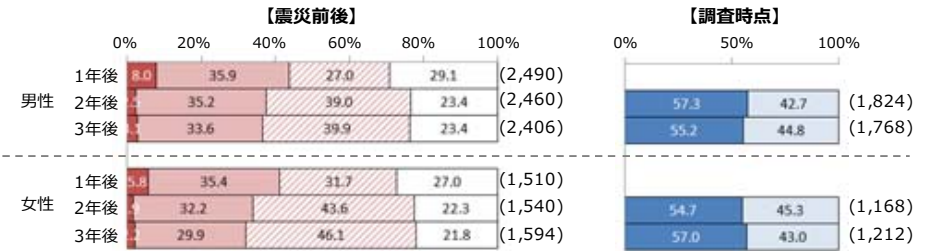
(4) ハザードマップなどを見て、津波によって浸水する可能性がある地域の確認



(5) ハザードマップなどを見て、地震・津波以外の災害（洪水や土砂災害）の危険性の確認



(6) 行政が指定している避難場所の確認

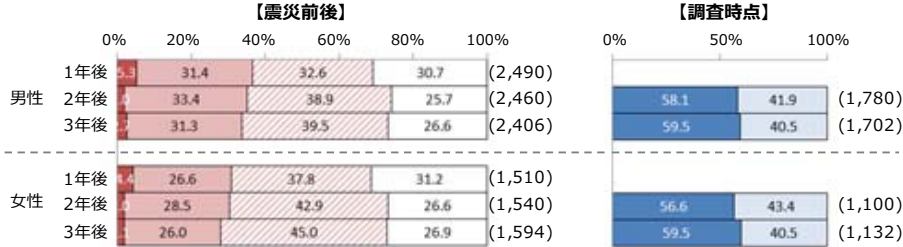


Ⅲ 性別基礎集計結果

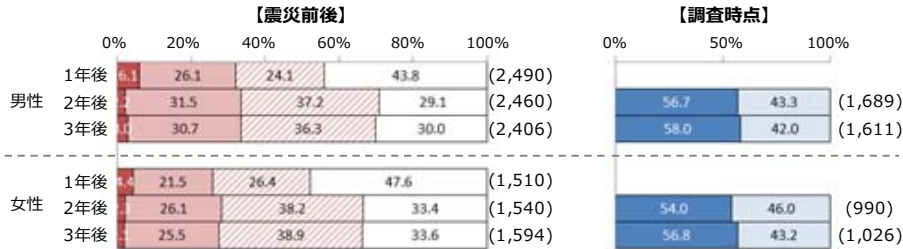
5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

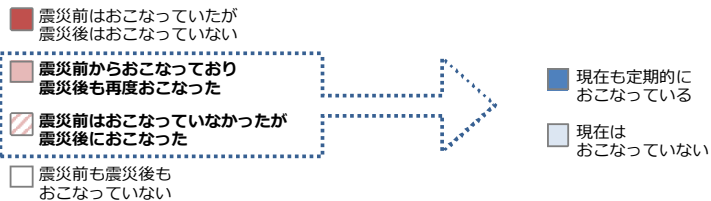
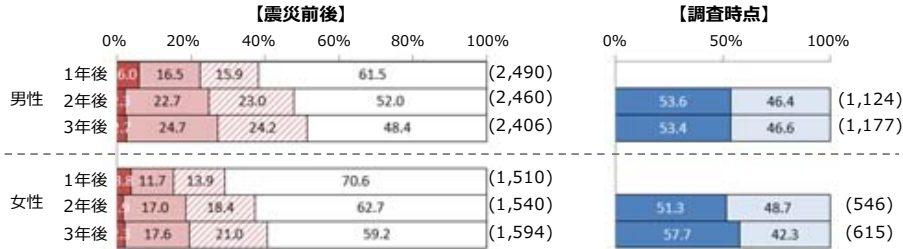
(7) 行政が指定している避難場所以外で、自分なりに避難場所の検討



(8) 避難場所までの避難経路を地図などで確認



(9) 避難場所までの避難経路を実際に歩いて確認

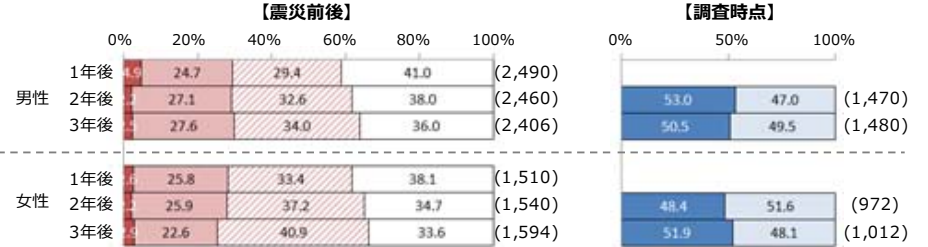


Ⅲ 性別基礎集計結果

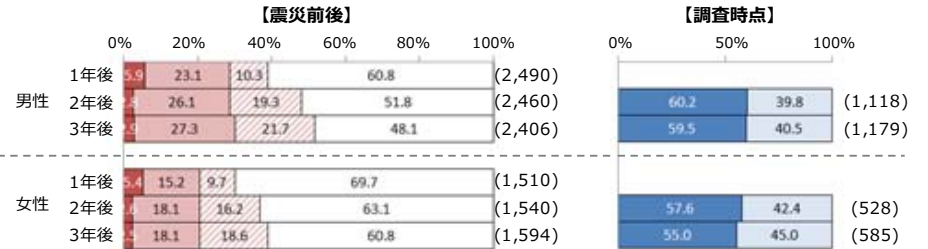
5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

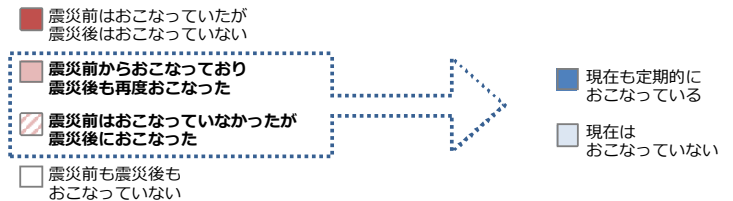
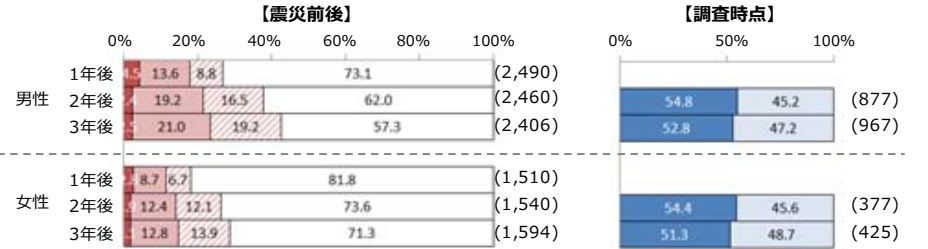
(10) 家族で、いざというときの避難方法や連絡方法の相談



(11) 防災訓練・避難訓練への参加



(12) その他、行政が主催する防災講演会や防災に関する取り組みへの参加

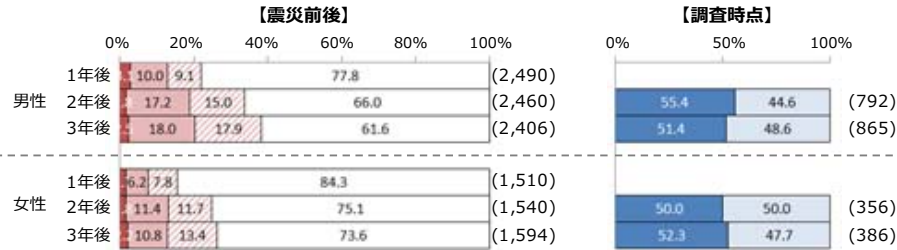


Ⅲ 性別基礎集計結果

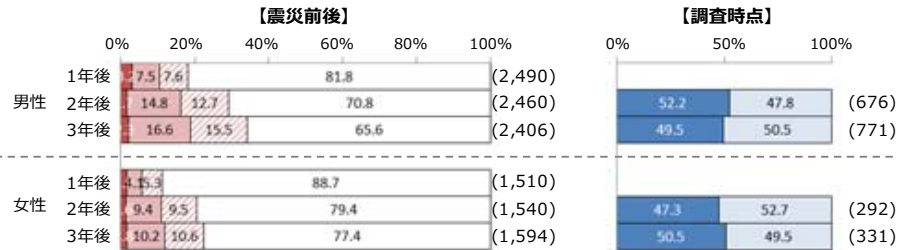
5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

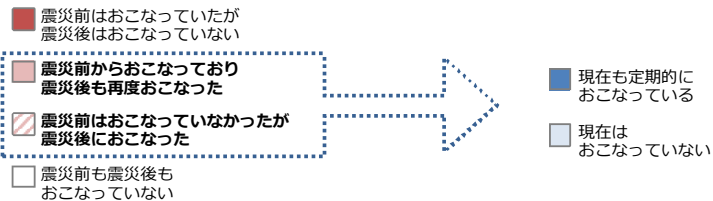
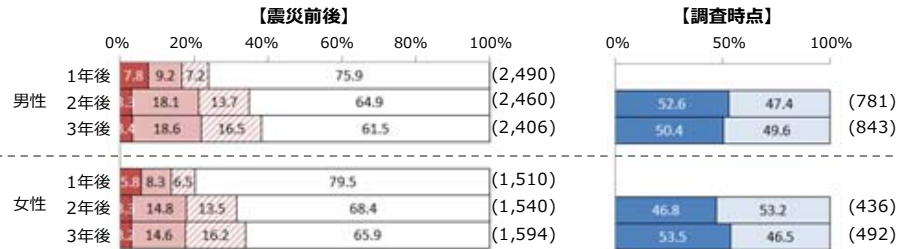
(13) 地域コミュニティで、避難場所や避難方法などの相談



(14) 地域コミュニティで、一人で避難することが困難な方への支援方法の相談



(15) 大きなゆれによる家屋倒壊に備えた自宅の耐震補強

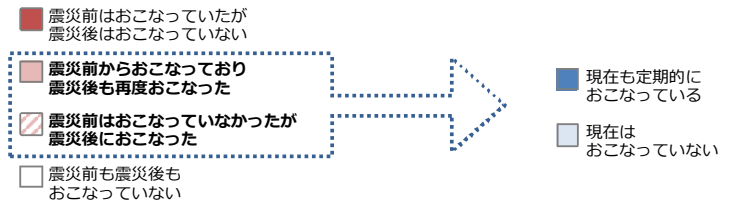
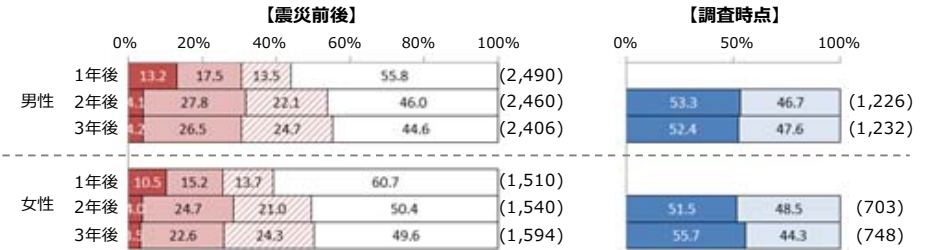


Ⅲ 性別基礎集計結果

5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

(16) 大きなゆれによる家財の転倒に備えた自宅の家財道具の固定



Ⅲ 性別基礎集計結果

6. 新想定（平成24年3月31日発表）に対する意識

A) 新想定（公表直後）

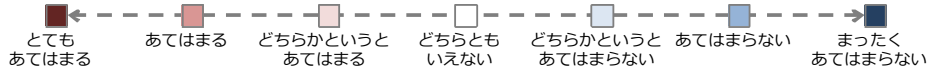
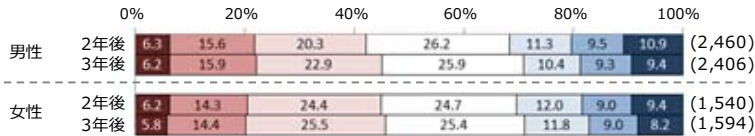
(1) “新想定”が発表された後、自分の住む地域で想定されている津波の高さをちゃんと確認した



(2) “新想定”が発表された後、避難場所の確認や避難方法を家族と相談するなど、津波への具体的な備えをおこなった



(3) “新想定”が発表された後、「次に襲来する津波は、この高さのものが必ずくるんだ」と思った

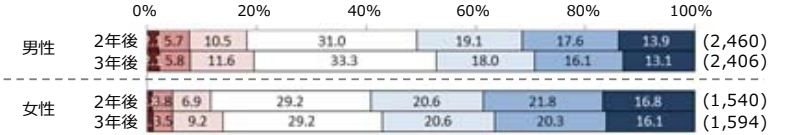


Ⅲ 性別基礎集計結果

6. 新想定（平成24年3月31日発表）に対する意識

A) 新想定（公表直後）

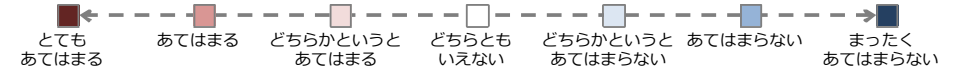
(4) “新想定”の内容を見て、自分の住む地域で想定されている津波の高さは、「大げさだ」と思った



(5) “新想定”の内容を見て、「備えなければ」という気持ちよりも、「これだけ大きな津波では何も対応できない」とあきらめる気持ちの方が大きかった



(6) “新想定”の内容を見ても、それ以前と比べて特に気持ちの変化はなかった



Ⅲ 性別基礎集計結果

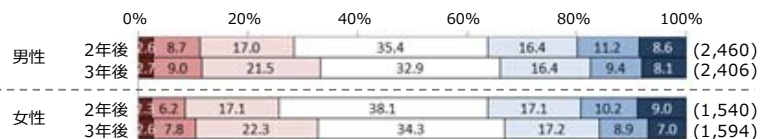
6. 新想定（平成24年3月31日発表）に対する意識

B) 調査時点【現在】

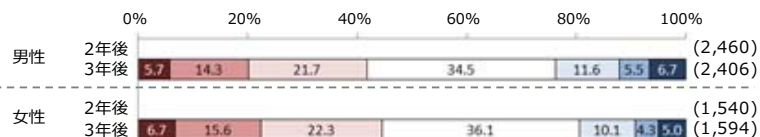
(7) “新想定”が公表されたことによって、
日頃から災害に備えたり、いざというときに避難する人は増えるのではないかと思う



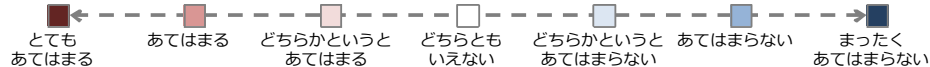
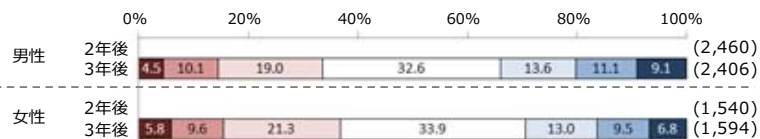
(8) 正直なところ、“新想定”が公表された直後と比較すると、
現在では、新たに想定された津波の高さなどをあまり気にしなくなっている



(9) 現時点においても、
「次に襲来する津波は、“新想定”として公表された規模のものが必ずくるんだ」と思っている



(10) 現時点においても、“新想定”の内容を見ると、「備えなければ」という気持ちよりも、
「これだけ大きな津波では何も対応できない」とあきらめる気持ちの方が大きい



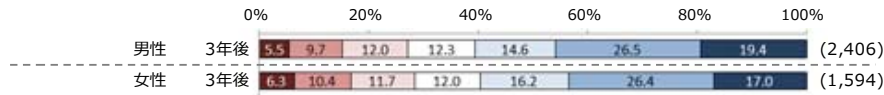
Ⅲ 性別基礎集計結果

Ⅲ 性別基礎集計結果

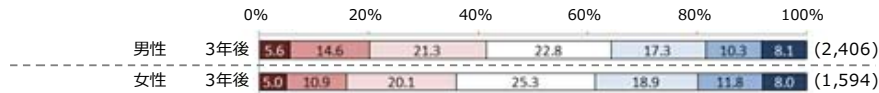
7. 特別警報（平成25年8月運用開始）に対する意識

「特別警報」に対する考えについて

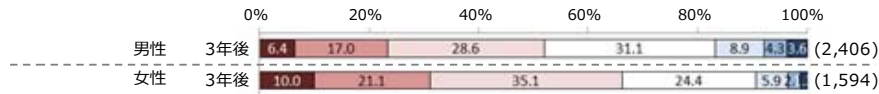
(1) “特別警報”の運用が開始されたことを知らなかった



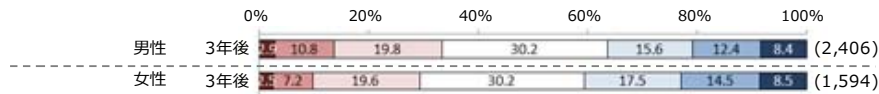
(2) “特別警報”について、すでにその内容をちゃんと把握していた



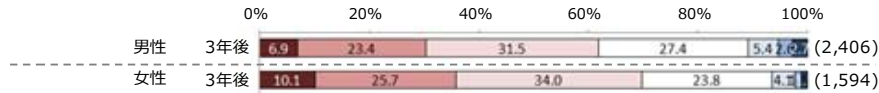
(3) 「命を守るための行動」だけでは、どのような行動をとればよいかわからないので、その具体的な対応内容も提示すべきだ



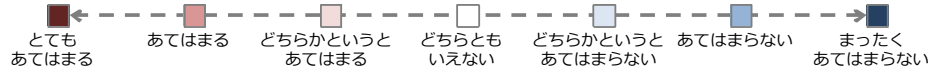
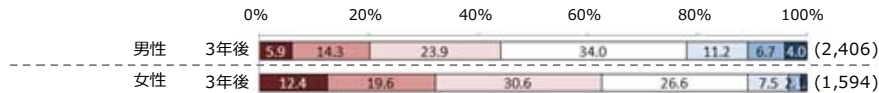
(4) “特別警報”の運用が開始されてから、「命を守るための行動」として、その具体的な対応内容（避難場所や避難経路など）を自らで検討した



(5) “特別警報”が運用されることによって、今後大きな災害が発生した場合、これまでよりも避難する人は増えるのではないと思う



(6) 正直なところ、特別警報が運用されるようになっただけでは、自分は「いざというときにちゃんと避難することができる」という自信がない

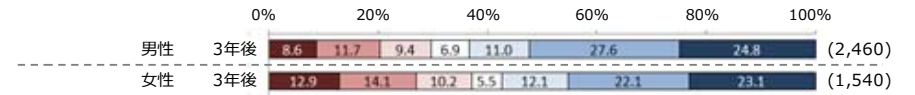


Ⅲ 性別基礎集計結果

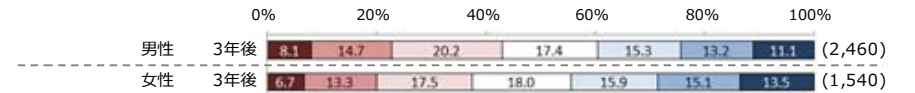
8. 新しい津波警報（平成25年3月運用開始）に対する意識

「新しい津波警報」に対する考えについて

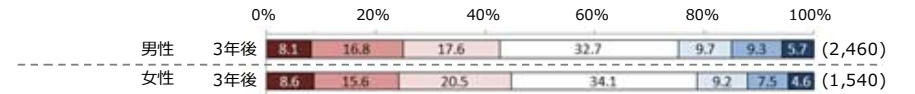
(1) 津波警報等が新しくなったことを知らなかった



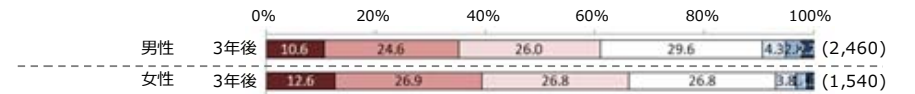
(2) “新しい津波警報”について、すでにその内容をちゃんと把握していた



(3) 「巨大」や「高い」という言葉よりも、以前のように予想津波高さを数値で発表された方が、津波の危険性を強く感じると思う



(4) “新しい津波警報”が運用されることによって、今後大きな津波が発生した場合、東日本大震災のときよりも、避難する人は増えるのではないと思う



(5) 正直なところ、津波警報の発表内容が変わっただけでは、自分は「いざというときにちゃんと避難することができる」という自信がない

